
RIBON

麻緒

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

RIBON

【Nコード】

N7216D

【作者名】

麻緒

【あらすじ】

小さな嘘・・・麻緒の特技は、小さな嘘をつくこと・・・今日もいつものように、小さな嘘をついていた・・・でも・・・その小さな嘘は本物になっていった・・・

嘘恋

「麻緒ねえ、好きな人できたんだあ」
また、友達に嘘をついた……………

「え。だれだれ?」

本当は、好きな人ができた訳じゃない。

ただ、かまってほしかった……………
みんなにかまわれたかっただけだった……………

何にも取り柄がない……………
自分を少しでも……………かわいく見せたかったんだと思う。

そんな

自分のみじめさを改めて実感した……………

私の名前は、羅明麻緒^{ロメイマキ}。

特技は……………

小さな嘘をつくこと……………。

今も、こうやって友達的美癒^{みゆ}に嘘をついている。

「ねえ。いい加減、教えてよ」

美癒が、ちよつと怒りぎみに聞いてきた。

「ん。あとでねえ」

いつもそんなことばかり言っている。

「麻緒!! あたしのこと信用してないでしょ!」
毎日こんなの繰り返し……………

でも、私はとても楽しかった。

自分が楽しければ、それでよかった。

でも、そんな日々には飽きてきたのか、美癒は、私から離れていった。

・・・

私はそんな美癒をみて、必死に人を好きになろうとした・・・でも、こんなことをしている間に美癒は、離れていった。

「麻緒の好きな人おしえてあげる。」

言っちゃった。

好きな人なんて、みつかなかったのに・・・

「まあじ??」

久しぶりに見た美癒の笑顔・・・

「・・・・・・・・。」

「・・・・・・・・。」

沈黙。

「んで・・・??誰なの??」

美癒が沈黙をやぶった。

私は・・・・・・・・

「薩夢 優季・・・・・・・・」

隣の席にいた話もしたことの無い人物の名前をだしてしまった・・・

・

「う・・・・・・・・うそーーーーー!!!!!!」

美癒の大きな声が響いた。

まあ。無理はないだろう・・・

私が、出してしまった名前は・・・

女子とは全く話しもしない、そんなにかっこよくもない・・・

人だったから・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7216d/>

RIBON

2010年10月11日02時33分発行